

令和2年度

# 事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

学校法人 松本学園

# 目 次

1. 法人の概要	2
(1) 建学の精神・教育目標	
(2) 法人の沿革	
(3) 設置する学校・学科等	
(4) 設置する学校・学科等の収容定員	
(5) 設置する学校・学科等の入学者（入園児）数等	
(6) 設置する学校・学科等の在学者（在園児）数	
(7) 設置する学校・学科の卒業（修了）者（卒園児）数	
(8) 役員の概要	
(9) 評議員の概要	
(10) 教職員の概要	
(11) 施設等の状況	
(12) その他	
2. 事業の概要	7
(1) 学校法人松本学園 事業の概要	
(2) 松本短期大学 事業の概要	
(3) 松本短大幼稚園 事業の概要	
3. 財務の概要	28
(1) 収支の状況	
(2) 主な財務比率について	
(3) 主な施設・設備の整備状況	

- 別紙 1 学校法人松本学園 役員・評議員名簿
- 別紙 2 松本短期大学 令和2年度 専任教職員 名簿
- 別紙 3 松本短期大学令和2年度 非常勤教員 名簿
- 別紙 4 松本短期大学 令和2年度 進路状況
- 別紙 5 松本短期大学 令和2年度入学試験 入試状況一覧表
- 別紙 6 松本短期大学 令和2年度 年間行事予定表
- 別紙 7 松本短大幼稚園 令和2年度 専任教職員 名簿
- 別紙 8 松本短大幼稚園 令和2年度 年間計画表
- 別紙 9 過去5年間の収支の推移
- 別紙 10 財務比率比較表

# 令和 2 年度 学校法人松本学園 事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神・教育目標

松本短期大学の建学の精神および松本短大幼稚園の教育目標は以下のとおりです。

#### －松本短期大学 建学の精神－

松本短期大学は、人々の健康と福祉及び教育における学術の教育研究の府として、信濃の国の教育風土に培われた教育への良心と見識をもって、ひとと交わり、ひとを育て、ひとに誠意を尽くす人間性の涵養と、自立した専門職業人（ケアスペシャリスト）の育成を行い、ひいては地域の人々に貢献する。

#### －松本短大幼稚園 教育目標－

やさしく・つよく・すこやかに

### (2) 法人の沿革

昭和 45 年 12 月	学校法人松本学園 設立認可（長野県知事）
	松本保育専門学校 設置認可
昭和 46 年 4 月	松本保育専門学校 開校
	初代理事長に上条憲太郎（元長野県教育長）就任
	初代学長に横内秀雄（元長野県教育長）就任
昭和 47 年 1 月	学校法人松本学園 組織変更認可（文部大臣）
	松本短期大学 幼児教育学科 設置認可
昭和 47 年 4 月	松本短期大学 開学（文部大臣）
	松本短期大学 幼児教育学科 開設 [入学定員 50 名]
昭和 49 年 8 月	松本短大幼稚園 設置認可 開園
	初代園長に片山光義（前学園常任理事）就任
昭和 52 年 4 月	第 2 代理事長に片山光義（松本短大幼稚園園長）就任
	第 2 代学長に上条侖男（前信州大学教授）就任
昭和 63 年 4 月	第 3 代学長に丸山求（前学園副学長）就任
平成 3 年 11 月	第 4 代学長に小山光男（前本学教授）就任
平成 4 年 12 月	松本短期大学 介護福祉学科 設置認可（文部大臣）
平成 5 年 3 月	介護福祉士養成施設 指定認可（厚生大臣）
平成 5 年 4 月	松本短期大学 介護福祉学科 開設 [入学定員 80 名]
平成 7 年 4 月	松本短期大学 専攻科福祉専攻 開設 [入学定員 20 名]
平成 7 年 8 月	第 2 代園長に片山司（学園理事長職務代理）就任
平成 8 年 4 月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 100 名に変更]
平成 9 年 3 月	第 3 代理事長に片山司（松本短大幼稚園園長）就任
平成 10 年 4 月	第 5 代学長に山崎健治（介護福祉学科学科長・教授）就任

平成16年 4月	松本短期大学 幼児教育学科を幼児保育学科へ学科名称変更
	松本短期大学 幼児保育学科 [入学定員 80名に変更]
平成17年 12月	松本短期大学 看護学科 設置認可(文部科学大臣)
	看護師学校 指定認可(文部科学省高等教育局長)
平成18年 4月	松本短期大学 看護学科 開設 [入学定員 60名]
	第6代学長に村山忍三(介護福祉学科学科長・教授) 就任
平成20年 4月	松本短期大学 幼児保育学科 [入学定員 100名に変更]
	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 80名に変更]
	第7代学長に山崎健治(本学前学長・教授) 就任
平成23年 4月	第4代理事長に銭坂久紀(前学園理事長代行) 就任
	第3代園長に銭坂久紀(前学園理事長代行) 就任
平成24年 4月	第8代学長に塚田昌滋(元市立岡谷病院院長) 就任
平成26年 4月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 65名に変更]
	松本短期大学 看護学科 [入学定員 70名に変更]
平成28年 4月	第9代学長に木内義勝(元松本大学松商短期大学部学部長) 就任
平成30年 4月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 50名に変更]
平成31年 4月	松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 40名に変更]
”	松本短大幼稚園 施設型給付幼稚園へ移行
令和2年 4月	松本短大幼稚園 認定こども園へ移行 [利用定員:1号75名,2号45名,3号33名]
令和2年 10月	松本看護大学 設置認可(文部科学大臣) [入学定員 70名]
令和2年 12月	保健師学校、看護師学校 指定認可(文部科学省高等教育局長)
令和3年 3月	松本短期大学 専攻科福祉専攻 廃止

(3) 設置する学校・学科等

設置する学校	開校年月	設置する学科等
松本短期大学	昭和47年 4月	幼児保育学科 [昭和47年度開設] 介護福祉学科 [平成5年度開設] 看護学科 [平成18年度開設] 専攻科(福祉専攻) [平成7年度開設] . . . 令和3年3月31日廃止
松本短大幼稚園	昭和49年 8月	令和2年4月 認定こども園へ移行

(4) 設置する学校・学科等の収容定員

(人)

学校名	学科等	入学定員	収容定員	備考
松本短期大学	幼児保育学科	100	200	
	介護福祉学科	40	80	
	看護学科	70	210	
	計	210	490	
	専攻科	20	20	
	合計	230	510	

学校名	学科等	入園定員	収容定員	備考
松本短大幼稚園		60	200	利用定員 153

(5) 設置する学校・学科等の入学者(入園児)数等(令和2年4月入学者) (人)

学校名	学科等	入学者数	備考
松本短期大学	幼児保育学科	98	
	介護福祉学科	26	
	看護学科	63	
	計	187	
	専攻科	4	
	合計	191	
学校名	入園者数	備考	
松本短大幼稚園	67	0歳児：3、1歳児：13、2歳児：6、3歳児：42、4歳児：3	

(6) 設置する学校・学科等の在学者(在園児)数(令和2年5月現在) (人)

学校名	学科等	在学者数							
		R02	R01	H30	H29	H28	H27	H26	合計
		入学生	入学生	入学生	入学生	入学生	入学生	入学生	
松本短期大学	幼児保育学科	98	96	2	1	-	-	-	197
	介護福祉学科	26	28	0	1	-	-	-	55
	看護学科	63	58	61	18	3	-	-	203
	計	187	182	63	20	3	-	-	455
	専攻科	4	-	-	-	-	-	-	4
	合計	191	182	63	20	3	-	-	459
学校名		在園児数							
		0歳児	1歳児	2歳児	満3歳	3歳児	4歳児	5歳児	合計
松本短大幼稚園		3	13	6	0	48	30	21	121

(7) 設置する学校・学科の卒業(修了)者(卒園児)数、学位授与数(令和3年3月卒業) (人)

学校名	学科等	卒業(修了)者数	学位授与数	備考
松本短期大学	幼児保育学科	99	99	
	介護福祉学科	29	29	
	看護学科	69	69	
	計	201	201	
	専攻科	4	-	
	合計	205	201	
学校名	卒園児数	備考		
松本短大幼稚園	23			

(8) 役員 の 概 要

1) 役員

別紙1 参照

2) 役員 の 状 況

特記事項なし

3) 退任された役員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	選任条項	備考
監事	草間 繁	非常勤	7-1	令和2年5月 監事退任
監事	柳澤 秋孝	非常勤	7-1	令和2年11月 監事退任

4) 理事会の開催状況

年月日	主な議題	備考
令和2年5月20日	令和元年度決算ほか	
令和2年8月19日	松本短期大学ガバナンスコードについてほか	
令和2年11月20日	松本看護大学設置認可についてほか	
令和3年2月9日	中期経営計画についてほか	
令和3年3月9日	令和2年度補正予算案ほか	

(9) 評議員の概要

1) 評議員

別紙1 参照

2) 評議員の状況

特記事項なし

3) 退任された評議員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	選任条項	備考
	該当なし			

4) 評議員会の開催状況

年月日	主な議題	備考
令和2年5月20日	令和元年度決算ほか	
令和2年8月19日	松本短期大学ガバナンスコードについてほか	
令和2年11月20日	松本看護大学設置認可についてほか	
令和3年2月9日	中期経営計画についてほか	
令和3年3月9日	令和2年度補正予算案ほか	

(10) 教職員の概要

1) 教員数

別紙2、3、7 参照

2) 専任教員の状況

松本短期大学では、教員の退職などに伴い令和2年4月1日付けにて、山藤宏子准教授（幼児保育学科）、松澤高志講師（幼児保育学科）、米窪洋介講師（幼児保育学科）、今井栄子教授（看護学科）、塩澤綾乃講師（看護学科）、黒澤多美子助教、佐藤圭子助手（看護学科）、小林たつ子教授（大学設置室）、小林由美教授（大学設置室）の9名を新規採用しました。なお、令和2年度末までの退職者は6名です。

松本短大幼稚園は、認定こども園化に伴い令和2年4月1日付けにて、安坂美代子（主任保育教諭）、森下恵美（副主任保育教諭）、高橋美涼（保育教諭）、竹原聖奈（保育教諭）、古本まみ（保育教諭）、堀内樹里（保育教諭）、宮坂桃夏（保育教諭）、南澤みゆき（保育教諭）、高山小百合（保育士）の9名を新規採用しました。

3) 職員数

別紙2、3、7 参照

4) 専任職員の状況

松本短期大学では、保健室担当の非常勤職員として勤務していた1名を専任職員として採用しました。松本短大幼稚園では、幼稚園バス運転手を新たに1名、専任職員として採用しました。採用日はいずれも令和2年4月1日付けです。

(11) 施設等の状況

1) 現有施設設備の所在地

主な施設等の状況は下表のとおりです。

所在地	施設等	面積等	帳簿価格	摘要
長野県松本市笹賀	校地他	17,738.57 m <sup>2</sup>	70,200 千円	駐車場用地含む
松本看護大学 (3号館)	校舎	1,140.43 m <sup>2</sup>	510,883 千円	延べ面積面積
松本短期大学 (1号館・2号館・ピアノ棟・共用部分他)	校舎	10,325.51 m <sup>2</sup>	763,384 千円	延べ面積面積
長野県松本市寿台	校地	5,381.00 m <sup>2</sup>	70,099 千円	
(松本短大幼稚園)	園舎	1,133.06 m <sup>2</sup>	282,758 千円	延べ面積面積
長野県松本市笹賀	敷地他	3,799.72 m <sup>2</sup>	269,525 千円	
(職員宿舍他)	宿舍他	139.07 m <sup>2</sup>	325 千円	

2) 当該年度の主な施設設備の取得または処分

新規取得建物

3号館（松本看護大学棟）… 511,735,977 円  
ピアノ棟 ……………… 70,093,500 円

(12) その他

1) 当該年度の重要な契約

・長期借入金残高：203,647 千円

借 入 先：長野県信用組合

使 途：松本短大幼稚園 認定こども園化施設増築・改修工事及び運営資金

2) 係争事件の有無

なし

3) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事項

なし

## 2. 事業の概要

### (1) 学校法人松本学園 事業の概要

学校法人松本学園は、法人設立以来、安定的な経営基盤を確立し、建学の精神および教育理念、教育目標に則った教育の具現化に取り組んでいます。

昨今の人口減少や競合校の増加など、学園を取り巻く厳しい環境の中でも教育・研究活動を永続的に発展させ、地域社会への貢献を果たしていきたいと考えています。

#### <主な事業の計画>

- 1) 改正された私立学校法への対応
- 2) ガバナンス・コードの策定に向けた検討
- 3) 第2期中期経営計画の策定に向けて
- 4) 松本看護大学の設置認可申請について

#### <計画の進捗状況>

##### 1) 改正された私立学校法への対応

2019（令和元）年に私立学校法の改正が行われ、本学園では令和2年1月17日付けにて寄附行為変更認可申請を行いました。私立学校法2019（令和元）年改正の主な概要は、役員の職務及び責任の明確化に関する事項、情報公開の充実、中期的な計画の作成、破綻処理手続きの円滑化についてとなっている。役員の職務及び責任の明確化に関する事項については、令和2年8月19日開催の理事会において、理事の競業について審議され承認を得ている。情報公開の充実については、令和3年2月9日開催の理事会・評議員会にて情報公開規程について審議され、一部を改正し令和3年4月1日より施行されている。本学園においては、改定概要に示された事項について誠意をもって取り組んでおり、今後、新たに対応が必要となる事項があった場合も、迅速かつ適切な対応を図るよう努めます。

##### 2) ガバナンス・コードの策定に向けた検討

平成30年8月に大学設置・学校法人審議会学校法人分科会が示した「学校法人制度の改善方策について（案）」の中に、ガバナンス・コードの策定の推進が記されました。また、令和元年5月に学校教育法及び私立学校法が改正されたことに併せて、今後は、学校法人が私立学校法等の法令を遵守するだけにとどまらず、経営方針や運営姿勢を自主的に点検し、経営の強化と、ステークホルダーに対して説明責任を果たすことが求められています。

このような状況から、本学園においては令和2年5月20日開催の理事会・評議員会及び令和2年8月19日開催の理事会・評議員会の審議を経て策定された。ガバナンス・コードは策定されたから終わりということではなく、本学園の健全な成長と発展につなげるためにも逐次見直しを図り、よりよいガイドラインとして運用できるよう対応に努めます。

##### 3) 第2期中期経営計画の策定に向けて

中期経営計画についても令和3年2月9日開催の理事会・評議員会にて第2期中期経営計画として今後5か年の計画について審議され、令和3年4月1日よりスタートしている。

##### 4) 松本看護大学の設置認可申請について

松本看護大学の設置認可については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、当初の予定を約2ヶ月遅れの令和2年10月23日に文部科学省より認可となりました。その後、令和2年12月1日付けにて、文部科学省より、保健師学校等の指定を受けることができました。松本看護大学の新校舎建設工事も順調に進み、予定した工程通り完成し、令和3年4月3日（土）に第1期生79名を迎えて、入学式を開催できました。

#### <今後の課題>

- ・内部監査に関する体制整備
- ・安定した経営基盤の確立



## (2) 松本短期大学 事業の概要

### 建学の精神

前述のとおりです。

### 教育の理念

松本短期大学は建学の精神を受けて、幼児保育学科、介護福祉学科、専攻科福祉専攻、看護学科を設置し、地域の人々の保健医療福祉と教育に関する現実の多様なニーズに応えることのできる保育士及び幼稚園教諭、介護福祉士、看護師のケアスペシャリストの養成教育を行う。

#### ① 保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士・看護師として「命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」の育成

本学の幼児保育学科、介護福祉学科、専攻科福祉専攻、看護学科において、保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士・看護師として専門的知識と技術を身につけ、専門職としての自覚と倫理観のもと、ひとと交わり、ひとを育て、ひとに誠意を尽くすことのできるケアスペシャリストの教育を行う。

#### ② 地域の保健医療福祉及び教育に貢献できる人材の育成

本学は地域における保健医療福祉及び教育の多様化・個別化するニーズに対応し、地域に貢献することのできる学生を受け入れ、地域の保健医療福祉及び教育の進展に寄与できる人材を育成する。

### 教育目標

松本短期大学は教育理念を受けて、「命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」を育成するために、3学科に共通する「ひとの命と健康を考える」「ひとの可能性を考える」「ひとの生活を考える」「ひとの権利を考える」「学修の基礎力を培う」の5つの柱を掲げ、ケアスペシャリストの養成教育を行う。また、地域のニーズを把握し、地域に寄与できる実践能力を育成するとともに、地域に密着し、幅広い視野に立ち、連携・協働できる人間関係調整力を養う。

#### ① ケアスペシャリストとしての人間性と倫理観の育成

本学では、保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士・看護師に必要な専門職としての自覚・責任感・倫理観をもち、信頼関係を築くことができるケアスペシャリストとしての豊かな人間性を育成する。

#### ② ケアスペシャリストに必要な専門的知識・技術・思考能力の育成

本学では、専門職に必要な基本的、かつ専門的な知識と技術を教授し、その知識と技術を安全に提供でき、さらに応用できる思考の基礎を育成する。

#### ③ 地域における保健医療福祉及び教育の多様化・個別化するニーズに応える実践能力の育成

本学では、地域における保健医療福祉及び教育の多様なニーズを把握し、個別のニーズに対応できる確かな実践能力を育成する。

### (幼児保育学科)

幼児保育学科では、本学の建学の精神、3学科の教育理念・教育目標より、以下の教育目標を掲げています。

- ① 保育及び幼児教育に携わる専門職業人としての自覚・責任感・倫理観を育成する。
- ② ケアスペシャリストとして、人と信頼関係を築くことができる豊かな人間性を育成する。
- ③ 保育及び幼児教育に携わる専門職業人に必要な専門知識・技術・思考能力を育成する。
- ④ 地域における保育及び幼児教育の多様化、個別化するニーズに応える実践能力を育成する。

### (介護福祉学科)

介護福祉学科では、本学の建学の精神、3学科の教育理念・教育目標より、以下の教育目標を掲げています。

- ① 豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。
- ② 社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。
- ③ 地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を考えることのできる力を養う。

(看護学科)

看護学科では、本学の建学の精神、3学科の教育理念・教育目標より、以下の教育目標を掲げています。

- ① 体系化された実践科学としての看護学を修得し、実践応用の力を身につける。
- ② 豊かな人間性を持った社会性のある看護専門職者として基本的な能力を身につける。
- ③ 看護専門職者としての意識、責任感、倫理観を身につける。
- ④ 看護専門職者として地域特性を見極めた看護が提供できる能力を身につける。
- ⑤ 国家試験に合格する看護の知識と技術水準を身につける。

(専攻科福祉専攻)

専攻科福祉専攻科では、本学の建学の精神、3学科の教育理念・教育目標より、以下の教育目標を掲げています。(専攻科の教育目標は介護福祉士養成をするため、介護福祉学科の教育目標と同じものになります。)

- ① 豊かな感性を備え、人への深い関心を持ち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。
- ② 社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。
- ③ 地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を考えることのできる力を養う。

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

(幼児保育学科)

豊かな人間性を備えたケアスペシャリストをめざし、専門知識と技術を身につけ、地域社会に貢献できる人を育成します。それに基づき、幼児保育学科では、以下のような学生を求めます。

- ① 子どもの育ちと生活に興味・関心がある
- ② 誠実に人と向き合える
- ③ 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- ④ 学びや体験の機会に意欲的に取り組むことができる
- ⑤ 入学後の学修に必要な基礎学力がある

(介護福祉学科)

本学は「豊かな人間性の涵養」と「ケアスペシャリストの育成」を教育理念としています。このことに共感し、豊かな感性を備え人と関わり、専門的知識・技術を身に付けて、地域社会に貢献できる学生を求めます。

- ① 介護福祉や社会福祉に関心を持ち、学ぶ意欲をもっている
- ② 人の立場になって考えることができる
- ③ 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- ④ 人と共に協力して活動に取り組むことができる
- ⑤ 入学後の学修に必要な基礎学力がある

(看護学科)

「生命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」としての看護師を育成します。それに基づき次のような学生を求めます。

- ① 人の健康、生活、医療に興味・関心がある
- ② 誠実に人と向き合える
- ③ 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- ④ 周囲のできごとを自分のこととしてとらえ、感じられる
- ⑤ 入学後の学修に必要な基礎学力がある

(専攻科福祉専攻)

本学は「豊かな人間性の涵養」と「ケアスペシャリストの育成」を教育理念としています。このことに共感し、豊かな感性を備

え人と関わり、専門的知識・技術を身に付けて、地域社会に貢献できる学 生を求めます。

- ① 介護福祉や社会福祉に関心を持ち、学ぶ意欲をもっている
- ② 人の立場になって考えることができる
- ③ 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- ④ 人と共に協力して活動に取り組むことができる
- ⑤ 入学後の学修に必要な基礎学力がある

#### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

##### （幼児保育学科）

教育目標とそれに関わるディプロマ・ポリシーに鑑み、保育及び幼児教育に関わる課題を、理論と実践の両面から思考し、また実践できる能力を養うため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成しています。

授業科目は、教養基礎科目と専門科目があり、これを2年間に配当します

- ① 教養基礎科目は、本学の目標である「命・可能性・権利を保障し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリストの育成」という観点から、3学科共通の教養基礎科目の枠組みに基づき編成しています。
- ② 専門科目は、「[保育の基礎] [子どもの成長と発達] [感性を高める想像力と創造力] [児童家庭福祉] [保護者支援] [保育実践力] [教養研究] [自己形成]」の各分野から配置しています。

##### （介護福祉学科）

専門性の高い介護福祉士を養成するために、指定規則にある「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」の4領域を学習します。

「5つの到達目標」に関連する科目構成と達成するための工夫

- ① 介護福祉士の仕事は人間を対象とする。なかでも高齢者や障がい者と接する機会が多い仕事であるため、対人援助技術が重要である。したがって、社会の中での人間を捉え、人との関わり方を重視し、自己の感性を高めていくとともに、相手の立場に立って考える力や信頼関係の構築に役立つ科目構成としている。
- ② 介護福祉学の確立を目指し、理論的根拠を学び、実際の応用能力が得られるように授業内容を工夫している。介護予防や地域包括ケアが重視されている社会に応えることができるようにしている。
- ③ 介護の倫理観を養い、個別的な生活課題(ニーズ)に応えることができるように、生命や生活に関連した科目構成としている。
- ④ 幅広い視野に立つためには、介護や福祉の理念や生活に関連する法律についての知識も必要になる。介護福祉士として対象者の尊厳と権利を守ることができる科目構成としている。
- ⑤ 地域に開かれ、地域に密着した教育をしていくために、学生が地域から学び、地域での活動の輪を広げて実践できるような科目構成としている。地域において介護実践力を高められるよう、多職種との連携も配慮した科目構成にしている。
- ⑥ 介護実践能力を高めるとともに、研究的な能力を育成するために、介護現場で学んできたことを振り返り、まとめていくことを大切にしている。介護実習終了後には、実習のまとめを行うとともに、2年次には介護研究に取り組み、その成果を発表している。

##### （看護学科）

教育目標およびディプロマ・ポリシーおよび看護師養成所指定規則に則り以下の方針に沿ってカリキュラムを編成しています。

- ① ケアスペシャリストとしての人間性の育成のために、「ひとの命と健康を考える」、「ひとの可能性とつながりを考える」、「ひとの権利を考える」、「ひとの生活と環境を考える」、「学修の基礎能力を養う」に基づく看護関連学の科目を配置する。
- ② 看護のケアスペシャリストとして、看護実践に必要な知識・技術を身につけるための看護専門科目を配置する。
- ③ さらに、①②の科目を統合・発展し実践する分野として看護専門科目に統合分野を配置する。
- ④ 地域の保健医療福祉および教育に貢献できる人材育成のために、3学科共通の地域志向科目を配置する。
- ⑤ 看護師国家試験合格に向けた知識と活用力を強化する。

##### （専攻科福祉専攻）

専門性の高い介護福祉士を養成するために、指定規則にある「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」の4領域を学習する。まず「人間と社会」では専門職としての基礎教養を修得するため選択科目をおいている。介護実践の根拠となる人の「こころとからだのしくみ」を学び、介護実践の基礎を理解する。これらの基礎分野の理解に基づいて、「介護」領域の介護の基本について学び、生活支援技術や医療的ケアの演習を通して専門的技術を体得していくものとする。生活支援技術については、介護過程を通して個々の生活支援技術を統合して学ぶ「総合的生活支援Ⅰ・Ⅱ」を設けており、あらゆる介護場面に共通する知識・技術を活用して、利用者の潜在能力を引き出し、発揮できる力を培えるように配慮している。

介護福祉学科との合同授業を行えるものは行うことにより、高校を卒業し介護福祉学科へ入学してきている学生たちに、授業態度や考え方等に良い刺激を与えられるようにしている。

「5つの到達目標」に関連する科目構成と達成するための工夫

- ① 介護福祉士の仕事は人間を対象とする。保育士養成教育の経験から、さらに高齢者や障がい者との関わりを通して人の尊厳を守ることができるようにしている。
- ② 少人数の授業であるため、疑問点がある場で解決したり意見交換ができるため、応用能力が得られるように授業内容を工夫している。
- ③ 地域に開かれ、地域に密着した教育をしていくために、学生が地域から学び、地域での活動の輪を広げて実践できるように地域交流を積極的にとり入れている。
- ④ 介護実践能力を高めるとともに、研究的な能力を育成するために、介護現場で学んできたことを振り返り、まとめていくことを大切にしている。介護実習終了後には、実習のまとめを行うとともに、介護総合実習終了後に事例研究にとり組み、その成果を介護福祉学科と合同で研究発表会を行っている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、修了認定の方針

（幼児保育学科）

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると設定し、「短期大学士」の学位を授与します。

- ① 基本的教養を身につけ、誠意と思いやりのある豊かな人間性を持ち、保育及び幼児教育のケアスペシャリストとしての倫理観を備えている。
- ② 保育及び幼児教育に関する基本的知識と技術を幅広く習得している。
- ③ 反省的・創造的に保育及び幼児教育活動に取り組むための基盤となる子どもの理解力、保育実践力を身につけている。
- ④ 子どもの成長と発達について理解し、子どもの視点に立ってその最善の利益を保証できるよう思考力と実践力を身につけている。
- ⑤ 子どもの感性を高める豊かな創造力と想像力を備えている。
- ⑥ 社会福祉全般に関する知識を持ち、子どもの最善の利益を軸とした分析力と判断力を身につけている。
- ⑦ 保護者支援に関わる原理・原則の理解及び地域・関連機関との連携を可能とする実践力を身につけている。
- ⑧ 自立した個人として、また保育及び幼児教育のケアスペシャリストとして主体的に学び続け、生涯にわたって自己の成長を追求できる力を備えている。

（介護福祉学科）

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、「短期大学士」の学位を授与いたします。

- ① 温かいこころと豊かな感性を備え、人への深い関心もち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができている。
- ② 介護を必要とする人の自立支援と、その人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。
- ③ 根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができている。
- ④ 常に問題意識を持ち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できている。
- ⑤ 介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できている。

(看護学科)

本学科に3年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、「短期大学士」の学位を授与いたします。

- ① 人は、身体的・精神的・社会的側面を持つ存在と理解している。
- ② 看護対象者の健康段階・発達段階に応じた看護を実践している。
- ③ 看護の本質を学び、自己の看護観をもっている。
- ④ 学修を通して、状況に応じた人間関係を築いている。
- ⑤ 自己成長のための努力をしている。
- ⑥ 地域の特性を理解し看護に反映している。

(専攻科福祉専攻)

専攻科に1年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到着目標に達した人材であると認定いたします。

(専攻科福祉専攻では、教育目標を受ける形で、以下の「5つの到達目標」を定め、1年課程ではありますが介護福祉士資格を取得するため、2年課程と同様の到達目標としています。)

- ① 温かいところと豊かな感性を備え、人への深い関心もち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる。
- ② 介護を必要とする人の自立支援と、その人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得する。
- ③ 根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができる。
- ④ 常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できる。
- ⑤ 介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できる。

1) 入学試験に関する状況 (令和3年度入試) 「別紙5参照」

①松本看護大学

入学定員70名に対し、最終的に79名(男15名、女64名)の入学生を確保することができました。

②松本短期大学

幼児保育学科は入学定員100名に対し99名の入学者、介護福祉学科は入学定員40名に対し34名の入学者を確保することができましたが、両学科とも入学定員を確保することができませんでした。

2) 国家試験に関する状況

① 介護福祉士国家試験 各年度の受験者数、合格者数、合格率などは下表のとおりです。

受験 年度	学科等	卒業 者数	受験者数		合格者数	不合格者数	合格率 (%)		
			当該卒業年度 受験者	既卒 受験者			本学	全国 平均	
H29	介護	35	34	34	-	32	2	94.1	70.8
	専攻科	3	3	3	-	3	0	100.0	
H30	介護	36	35	35	-	33	2	94.3	73.7
	専攻科	1	1	1	-	1	0	100.0	
R01	介護	37	37	37	-	35	2	94.6	69.9
	専攻科	4	4	4	-	4	0	100.0	
R02	介護	29	28	28	-	26	2	92.9	69.9
	専攻科	4	3	3	-	3	0	100.0	
合計		149	145	145	-	137	8	Ave 94.7	71.1

平成29年度より、介護福祉士養成校の卒業者に対しても介護福祉士国家試験が始まりました。カリキュラムに特別講座を盛り

込むなど、本学においても国家試験対策を行っています。令和3年1月31日（日）に第33回介護福祉士国家試験が実施され、介護福祉学科28名と専攻科3名の合計31名が受験し、29名が合格という結果となりました。

② 看護師国家試験 各年度の受験者数、合格者数、合格率などは下表のとおりです。

受験 年度	卒業 者数	受験者数		合格者数	不合格者数	合格率(%)		
		当該卒業年度 受験者*	既卒 受験者			本学	全国平均	
H20	45	45	45( 0)	-	38	7	84.4	89.9
H21	55	62	55( 8)	7	53	9	85.5	89.5
H22	45	52	45( 5)	7	43	9	82.7	91.8
H23	43	50	43( 5)	7	49	1	98.0	90.1
H24	39	41	39( 8)	2	36	5	87.8	88.8
H25	40	45	40(12)	5	40	5	88.9	89.8
H26	59	63	59(12)	4	63	0	100.0	90.0
H27	45	44	44(12)	0	43	1	97.8	89.4
H28	52	54	52(13)	2	53	1	98.1	92.7
H29	35	36	35( 9)	1	36	0	100.0	91.0
H30	37	37	37(13)	0	37	0	100.0	89.2
R01	42	42	42(13)	0	42	0	100.0	89.2
R02	69	69	69(18)	0	69	0	100.0	92.8
合計	606	640	605(128)	35	602	38	Ave 94.1	90.3

\* ( ) は、修業年限3年を超えて卒業した者の内数

平成26年度から、国家試験対策として非常勤助手1名（看護専門学校の前教員）を採用して国家試験対策を行っています。令和3年2月14日（日）に第110回看護師国家試験が実施され、69名が受験し、69名全員合格という結果を得ました。

### 3) 教員組織、教員数並びに各教員が有する学位及び業績

松本短期大学のホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

（トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績」）

### 4) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画

各学科のシラバス〔履修ガイド〕に記載しています。シラバスは松本短期大学のホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

（トップページ→情報公開→「概要」→「令和2年度 シラバス〔履修ガイド〕」）

### 5) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了に当たっての基準

松本短期大学のホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

（トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「4. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了に当たっての基準（必修・選択別の必要単位取得数及び取得可能学位）」）

### 6) 授業料、入学金、その他徴収する費用

松本短期大学のホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

（トップページ→情報公開→「1. 教育研究上の基礎的な情報」→「4. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用」）

### 7) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

松本短期大学のホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「5. 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援」)

8) 卒業者数、修了者数、学位授与数

前述のとおりです。

<主な事業の計画>

1) 教育に関する計画

- ① 幼児保育学科
- ② 介護福祉学科
- ③ 看護学科

2) 学生支援に関する計画

- ① 学生サポート体制の充実
- ② 高等教育の就学支援新制度による授業料減免
- ③ 休学生への復学支援
- ④ その他

3) 入学者の受け入れに関する計画

- ① 松本看護大学
- ② 松本短期大学

4) 地域との連携に関する計画

- ① 公開講座開催

5) 施設・設備の整備計画

- ① 音楽棟の耐震化工事・音楽レッスン棟の耐震化工事
- ② パソコン教室の整備について
- ③ 松本看護大学に係る施設・設備整備計画
- ④ コロナ禍の授業体制・遠隔授業システムの導入
- ⑤ 教務システムの変更

6) 運営に関する計画

- ① 理事長、学長のリーダーシップによる改革
- ② 自己点検・評価の活発化

7) その他

<計画の進捗状況>

1) 教育に関する計画

- ① 幼児保育学科

新カリキュラム導入に伴う運用上の課題の検討

令和2年度には、1・2年生のゼミナールの曜日を分けて配置し、自主的に活動を促しました。また、空きコマの有効な活用として、ピアノ演奏技術の向上のため練習室の積極的な利用を促しました。さらに、新設されたスタディールームが有効に利用されることを願っています。

学生の多様な学びを評価する試み

令和2年度は、コロナ禍のため評価の対象としたいボランティア活動等に、学生はほとんど参加できませんでした。

### 充実した実習指導体制の確保

令和2年度には実習委員会を頻りに開催し、それぞれの実習の連動性を高めました。また、実習記録・マニュアルを改定するとともに、実習準備室の整備を進めています。

### ② 介護福祉学科

#### 新カリキュラムへ向けての準備

令和3年度のカリキュラム変更に向け、準備を進めています。領域「人間と社会」において、人間関係とコミュニケーションに関する教育内容の充実が求められており、学科で検討した結果、演習の授業形態で人間関係とコミュニケーションⅠ・Ⅱを開設する予定としました。また、教養科目として、基礎学力の向上を目指し、初年度教育Ⅰ・Ⅱを必修科目として配置することとしました。教員間で連携をとることで各教科のつながりを強化し、国家試験の合格を目指し、教育内容や教育体制を充実させることとしました。

#### 三つの方針の自己点検

A P（入学者受け入れ方針）、C P（教育課程編成 実施の方針）、D P（学位授与の方針）の自己点検を行いました。A Pに関しては、高校生などにも、よりわかりやすい表現で伝えられるよう検討を行いました。

#### 入学生の受け入れ体制の強化

志願者数の減少により、入学定員減を昨年度および今年度に行いました。ここ数年は、入学定員充足率が60%程度にとどまり、全国の介護福祉士養成施設と同様に大きな課題となっています。

この志願者数の減少を重大なことと捉え、短期大学として実施するオープンキャンパス3回、進学相談会に加え、学科独自のオープンキャンパスを秋と冬に実施しました。また、長野県地域医療介護総合確保基金（介護従事者確保分）を活用し、外国人留学生の受け入れのため、中国語のリーフレットを作成し、ホームページ上に掲載しました。

全国的に介護福祉士養成施設が淘汰されている状況の中、本学で学びたいと思える魅力的な学科編成を行っていきます。

### ③ 看護学科

#### 看護師国家試験合格率100%の維持

第107回（平成29年度）、第108回（平成30年度）、第109回（令和元年度）、第110回（令和2年度）看護師国家試験において、本学科の合格率は4年連続100%との結果を残しています。看護学科の各教員が指導にあたったほか、国家試験対策として雇用している非常勤講師1名が専属で指導にあたりました。

#### 退学者・休学者の減少への取り組み

学生は修学意欲の低下から退学（または休学）に結びつくことが多いことを認識し、学生一人一人により時間をかけ、より手厚い支援を行うことで修学意欲を維持してもらうために、今年度、来年度と看護大学の専任教員が講義を担当することにより、短大専任教員の学生への個別指導の充実をはかり、退学者や休学者の減少に向け取り組んでいきます。

年 度	看護学科 退学者数
平成29年度	30件
平成30年度	29件
平成31（令和元）年度	21件
令和2年度	5件

年 度	看護学科 休学者数
平成29年度	44件
平成30年度	52件
平成31（令和元）年度	29件
令和2年度	9件

前年度（平成31年度）と比較し、退学承認件数はマイナス16件、休学承認件数はマイナス20件となり、学生の修学意欲を維持する取り組みは効果が表れてきていると感じています。この取り組みには、各教員が教育研究活動を行う時間の中で多くの時間を要している状況ですが、各委員会や各部局と連携しなから今後も取り組んでいきたいと考えています。



## 2) 学生支援に関する計画

### ① 学生サポート体制の充実

#### 学習支援

平成 27 年度の GPA 制度導入後、成績が不振であった学生には、ゼミナール制やチューター制を通して学習支援を行い、学習意欲を高めるよう努めています。

また、学長のリーダーシップの下、可能な限りオフィスアワーの時間を学生に示すこととし、学生の質問などに対応できるよう努めています。

松本看護大学棟の建設に伴い、併せて 2 号館内の女子ロッカールームをスタディールームへと改装いたしました。学生交流・自主学習の場として大いに利用されることを望みます。

#### 進学、就職支援

進学、就職活動支援に関しては、事務局学生部と学生支援委員会（教員組織）が連携して行っています。

学生部では、県内外の保育園、幼稚園、障害者支援施設、老人福祉施設、病院などから送付される求人票やパンフレットを施設別に整理して、関係学科別にコーナーを設けて学生の閲覧に供しています。県内求人は求人票を、県外求人は求人一覧表を学生部前の掲示板に張り出して求人情報を提供しています。

進学については、全国の大学、短期大学、専門学校から送付される入学案内などに関し、進学関連コーナーを設けて閲覧に供し、進学希望の学生には学科と連携して個別指導をしています。

令和2年度卒業生および修了生の進学、就職データは「別紙4」をご参照ください。

### ② 高等教育の就学支援新制度による授業料減免 …… 【新制度】

政府による新たな就学支援措置として、平成 29 年の「新しい経済政策パッケージ」、平成 30 年のいわゆる骨太の方針において、意欲ある子どもたちの進学を支援するため、授業料・入学金も免除または減額と、返済を要しない給付型奨学金の大幅拡充することにより大学・短大等に通う住民税非課税世帯の学生等は無償化する方針を決定しました。この新たな支援措置が令和 2 年 4 月から実施され、本学においても多くの学生が該当となり、減免者延べ人数 51 名、減免総額 27,786,500 円でした。

学科	授業料				入学金		計
	前期		後期		人数	減免額	
	人数	減免額	人数	減免額			
幼児保育学科	27	6,080,200	23	4,908,300	22	3,133,900	14,122,400
介護福祉学科	7	1,446,900	7	1,446,700	5	666,800	3,560,400
看護学科	15	4,133,500	16	4,236,700	10	1,733,500	10,103,700
計	49	11,660,600	46	10,591,700	37	5,534,200	27,786,500

### ③ 休学生への復学支援

健康上の理由や家庭事情、成績結果など学生が休学を選択する理由は様々ですが、休学により学業から離れてしまうことで、修学意欲が低下してしまう学生がいるのが現状であり、休学からそのまま退学に結びついてしまう学生もいます。このような選択を学生がしなくて済むよう、学生の修学意欲を持続させるため、学校から休学生に対し様々な面において接点を持つよう努めています。また、授業料納入の負担を軽減させるため、期首からの休学であれば、授業料減免制度を設け運用しています。

各学科の休学者数は下表のとおり。

学科	令和元年度	令和2年度	差異	休学者減少率
幼児保育学科	4	1	-3	-75.00%
介護福祉学科	1	1	0	0.00%
看護学科	29	9	-20	-68.97%
専攻科	0	0	0	-
計	34	11	-23	-67.65%

④ その他

奨学金

日本学生支援機構、長野県看護職員修学資金、長野県保育士修学資金、長野県介護福祉士等修学資金、生命保険協会介護福祉士養成給付型奨学金からの奨学金受給状況は下表のとおりです。(病院からの奨学金は除く)

学科	学年	日本学生支援機構				保育士 修学資 金	介護福 祉士等 修学資 金	看護職 員修学 資金	生命保 険協会 給付型 奨学金	合計
		計	一種	二種	給付					
幼保	1	65名	20名	24名	21名	32名	--	--	--	97件
	2	30名	12名	12名	6名	30名	--	--	--	60件
介護	1	12名	4名	3名	5名	--	8名	--	--	20件
	2	6名	1名	1名	4名	--	14名	--	1名	21件
看護	1	42名	16名	16名	10名	--	-	3名	--	45件
	2	39名	13名	20名	6名	--	-	4名	--	43件
	3	28名	9名	18名	1名	--	-	2名	--	30件
専攻科		1名	0名	1名	0名	--	0名	--	--	1件
合計		223名	75名	95名	53名	62名	22名	9名	1名	317件
昨年同期		149名	60名	82名	7名	54名	31名	8名	1名	243件
一昨年同期		141名	55名	81名	5名	53名	31名	7名	1名	232件
一昨々年同期		176名	62名	112名	2名	17名	27名	5名	1名	239件
4年前同期		190名	62名	128名	--	--	20名	9名	1名	239件

特待生

今年度の特待生は次の3名です。

幼児保育学科 2年生

介護福祉学科 2年生

看護学科 2年生

3) 入学者の受け入れに関する計画

本学への志願者数はほぼ横ばいから減少傾向が続いている背景もあり、広報活動ならびに教育研究活動の発信体制を整備し、学生確保に努めることとしました。

① 松本看護大学

設置前または認定後のPR活動および学生募集

・オープンキャンパスの開催

7月・8月の期間に3回オープンキャンパスを開催しました。新型コロナウイルス感染予防のため、事前予約制による人数管理の徹底や、従来の来場形式による開催に加え、インターネット上でスマホやパソコンを通じて視聴ができるオンライン説明会を取り入れました。オープンキャンパスの参加者は、延べ252名(オンライン57名含む)となりましたが、オンライン説明会の導入により、遠方(県外)の方との接点が増えるなどといった参加学生層の幅の広がりが見られました。

・企業主催の進学相談会への参加

企業が主催する高校または商業施設で行われる進路ガイダンスに参加し、受験生へ学校案内パンフレットなどを用いながら直接的に本学の情報発信を行いました。新型コロナウイルス感染予防のため、開催数も減少し、延べ308人の接触数となりました。

・学校案内と募集要項の制作と配布

学校が保有している受験生へ、学校案内と募集要項を配布・郵送しました。

・テレビCM、インターネット広告、新聞広告の実施

認知度の強化や入試日程の告知を目的として、認可後に新聞広告（15段カラー）を行いました。また、高校生の利用率が高いとされるスマホにSNS広告（インスタグラム）・リスティング広告と、保護者や教育関係者をメインターゲットとしたテレビCMを県内の民放4局を利用し放送しました。

② 松本短期大学

志願者数増加を目的とした方策の検討

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初開催を予定していた6月のオープンキャンパスや10月の進学相談会は実施を見送りましたが、予防対策を講じたうえで7月・8月・9月・翌1月・翌2月・翌3月に来場形式と並行してオンライン説明会を開催しました。参加者は、延べ392名（オンライン46名含む）となり、昨年度と比較すると減少しました。

4) 地域との連携に関する計画

公開講座開催

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公開講座の中止が余儀なくされました。そのため、公開講座の代替事業として、情報誌「まつたん瓦版」を各学科が担当し、地域の皆様に回覧して頂くことによる地域貢献活動を実施しました。

「まつたん瓦版」の発行日、内容については次のとおりです。

(発行部数：各426部)

回数	発行日	担当	テーマなど
第1号	令和2年11月27日	幼児保育学科	動揺がなくなる！子どもたちに歌い継ぎたい日本の心
第2号	令和2年12月25日	看護学科	新型コロナウイルス渦における看護学科の現状と取り組み
寄付講座号外	令和2年12月25日	森永乳業	「免疫調節作用」と「抗菌・抗ウイルス作用」で体を守る
第3号	令和3年1月29日	介護福祉学科・専攻科	介護のミニ心得 ～今、この時を大切に～ ・ 介護川柳

5) 施設・設備の整備計画

① 音楽棟の耐震化工事・音楽レッスン棟の耐震化工事

音楽棟・音楽レッスン棟については、第1期中期計画で耐震補強等を検討したが、耐震基準を満たさず建て替えが急務であった。同一の場所に建て替えた場合仮設校舎を建設する必要があるなどの授業への影響が懸念されていた。令和2年11月20日開催の理事会・評議員会にて検討・審議の結果、既存の体育館西側へ音楽棟と音楽レッスン棟を一体化した新しい音楽棟の建設が承認された。株式会社アスピア様に建設工事を依頼し、令和3年2月に完成しました。

② パソコン教室の整備について

老朽化したパソコン教室の機器類について、国の補助金を利用しての新規導入を計画したが、補助事業の対象に選定されなかったため、令和2年度には事業を実施することができず、来年度以降の事業として検討を継続することとなった。コロナ禍による授業の多様化に伴い、Wi-Fiを利用した遠隔授業等への対応を図るため、パソコン教室のあり方から再度検討を行い、学内のWi-Fi事情を含めて事業を具体化し早期の運用を目指します。

③ 松本看護大学に係る施設・設備整備計画

令和3年4月の松本看護大学開学を控え、3号館となる松本看護大学棟が体育館西側のテニスコート跡地に建設された。併せて、1号館及び2号館についても改装が行われ、2号館1階の女子ロッカールームをスタディールームへと改装した。スタディールームでは学生が自主学習に使用するほか団らんの場として大いに利用されることを願っている。また、1号館2階の202教室及び203教室は、新たな女子ロッカールームへと変貌した。女子ロッカールームへの改装により、使用頻度の低かった教室が有効に利用されることとなった。

④ コロナ禍の授業体制・遠隔授業システムの導入

新型コロナウイルス感染拡大により、県の感染警戒レベルが4に引き上げられたことに伴い、併せて中信地区の感染状況が懸

念される状況になったため、4月～5月下旬まで臨時休校の措置を採り、感染防止に努めました。休校中は、遠隔授業として、授業科目の課題を複数回郵送またはオクレンジャー（学内メール配信システム）で提示して家庭学習を励まし、登校後に課題に対する補講・解説を行なうなど学習内容の理解と知識習得に対しての策を講じました。休校解除後の6月からは感染状況を鑑み、3密を回避するため、隔週で幼児保育学科、介護福祉学科と看護学科に2分化して対面授業を実施し、7月からは警戒レベルの引き下げにより全学科通常授業を実施しました。

また、コロナ禍による授業の多様化に伴い、遠隔授業システムの導入を図りました。導入にあたり、学生の所有する情報端末の保有調査から始めたため、令和2年9月からのmanabaシステムの導入となりましたが、eラーニングに対応したmanabaシステムにより、課題の送付・レポートの提出・授業資料等の送付をオンラインでできるようになりました。11月にはウェブ授業システムに対応したoffice365システムを導入しました。office365システムの導入によりeラーニングへの対応も可能となったことから、一部サービスが重複しランニングコストが発生するmanabaシステムは令和3年3月に利用を停止しました。ウェブ授業の本格的導入にあたり、教職員及び学生がシステム操作を早期に習熟することが課題と言えます。

#### ⑤ 教務システムの変更

松本看護大学設置が認可され、令和3年4月から運用する教務システムほかについて、株式会社電算と連携をとりながら今後のシステムの在り方について協議を進めてきました。パッケージ製品の導入も視野に検討した結果、費用面と4月からの運用を考慮し、既存システムの変更で運用を行うことに決定しました。

また、短期大学の教務システムに関しては、令和3年4月からの介護福祉学科カリキュラム変更に対応するため、システムの変更について業者と連携をとり準備を行いました。

#### 6) 運営に関する計画

##### ① 理事長、学長のリーダーシップによる改革

理事長のリーダーシップの下、松本看護大学設置に向けた作業・申請を行いました。松本短期大学看護学科で培った実績や経験、教育資源などを活かし、令和3年の開学が認可されました。時代のニーズ、地域のニーズに応えるため、養成する人材像を「生命の尊厳に基づく倫理観と幅広く深い教養を有し、生涯を通して知識・技術を学び続け、地域の保健医療福祉に対する理解と看護に必要なかつ十分な知識と素養を有し、多職種と連携・協働し、地域の保健医療福祉の向上に貢献できる看護実践能力をもった看護職者」とし、上條学長の下、教育活動を行っていきたいと考えています。

また、令和2年4月の私立学校法の改正により、理事長が指揮し寄附行為の変更を行いました。中期経営計画の策定や情報公開内容の追加整備など、新たに必要となるものに関し理事会の承認を得ました。

松本短期大学では木内学長の指揮の下、地域との連携を進めます。学長自ら笹賀地区との連携窓口の役割を担い、公開講座などにも地域の皆様のニーズに応える内容となるよう積極的に努めています。これまでは学生や教職員がそれぞれ行っていた地域社会への貢献活動が、学長のリーダーシップにより全学的な取り組みへと転換してきました。

コロナウイルス感染拡大防止のため危機管理委員会を随時招集し、学生や教職員の安全・健康を考え、入学式・卒業式の時間短縮、学内への立ち入り規制や授業スケジュールなど、この状況を学校関係者全員が一丸となって乗り越えられるようリーダーシップを発揮し、教職員の意見を聴取しながら決定を行っています。

##### ② 自己点検・評価の活発化

認証評価における評価基準が改正され、本学においても新しい評価基準により自己点検・評価活動に取り組んでいます。今年度も評価マニュアルを基にしたアンケートを全教職員に実施しました。このアンケートは1年間の自己点検を行うとともに、回答することで評価基準を目にすることができ、自己点検・評価報告書を作成する上でどのような根拠資料を提示すべきかを全教職員が認識できるように行っている自己点検・評価活動です。

前回の外部評価では、向上・充実のための課題として「学習成果を質的・量的に測定するには、各学科が定めた学位授与の方針に示された能力に対応して測定する必要があるため、工夫が望まれる」との評価を受けたことから、評価委員会および自己点検・評価委員会において検討を進めています。

7) その他

① 民間活用委託訓練事業「介護福祉士養成科」訓練生の状況

介護福祉学科で受け入れを行っている民間活用委託訓練事業「介護福祉士養成科」訓練生について、平成31年度入学生1名が令和3年3月15日に卒業を果たしました。また、令和3年度入試では3名が合格し、入学しました。令和2年度入学生5名は、全員が2年次に進級しました。

② 喀痰吸引等研修事業・介護福祉士実務者研修

喀痰吸引等研修事業

法改正により、介護福祉士や一定の教育を受けた介護職員等による痰の吸引等が可能となりました。本学では平成24年度より研修教育を行っています。受講生は減少傾向にありますが、令和2年度は58名が受講し、年度末までに54名が修了しました。

介護福祉士実務者研修事業

平成28年度から介護福祉士の国家試験に挑戦する「実務者ルート」では、3年以上の実務経験と450時間以上の実務者研修を修了していることが必要となりました。本学では、通信課程の介護福祉士実務者研修を行うための指定を受け、平成26年度からこの研修を開始しました。平成30年度より、ユマニテク医療福祉大学校（学校法人みえ大橋学園）と業務提携を行い、研修を実施しています。令和2年度の受講者は18名でした。

③ FD・SD活動

授業評価

- ・授業評価（VOICE）では該当科目教員が関わらないように回収方法を変更。（学生がより率直な意見を書きやすくするため）
- ・自由記載の部分はワードで打ち直して該当教員へ配布しました。

FD研修会

- ・コロナ禍である状況を踏まえて、個々での動画視聴という形で全教職員を対象に開催しました。
- ・寄せられた動画視聴の感想は全教職員にファイルで送信しました。

④ 図書館

「松本短期大学研究紀要第31号」を2021年3月31日付けで発刊しました。

令和3年3月末現在 蔵書数 52,025 冊、DVD 他視聴覚教材 1,769 個。

<今後の課題>

- ・入学生確保（志願者数の増加対策）
- ・休学生・退学生の抑制対策
- ・地域との連携強化
- ・学生の満足度向上
- ・学内ハラスメントの抑止
- ・新型コロナ対応
- ・施設・設備整備計画の具現化

参考 令和2年度の各学科の学生動向は下表のとおり。

学科	年度当初在籍者数	退学者数	除籍者数	卒業者数	年度末在籍者数
幼児保育学科	197	3	0	99	95
介護福祉学科	55	0	0	29	26
看護学科	203	5	0	69	129
専攻科	4	0	0	4	0
計	459	8	0	201	250

### (3) 松本短大幼稚園 事業の概要

<計画の進捗状況>

#### 幼稚園部

#### 1. 令和2年度の取り組み

令和2年度4月より、幼稚園型認定こども園として幼稚園部と保育園部の教育、保育が始まる。

#### (1) 幼稚園の教育方針

幼稚園での教育は、生きる力の基礎を培うため、保育者の指導のもと毎日の生活や、様々な活動や体験、遊びを通しての学びを大切にしながら、その後の教育の基礎が培われることを大切にしながら保育を行っている。文部科学省から施行されている「幼稚園教育要領」の指導内容を基に、幼稚園独自の創意工夫を加えて、幼稚園の教育目標を定め保育を行い、「幼稚園教育要領」のなかで、特に ①生きる力の基礎の育成

②豊かな心と健やかな体の育成

この二点に力を入れ指導を行い、指導の内容としては、下記の五つの領域をあげている。

- ①健康な心と体を育てる領域……「健康」
- ②自立心、人との関わりに関する領域……「人間関係」
- ③思考力の基礎を育てる領域……「環境」
- ④言葉の獲得に関する領域……「言葉」
- ⑤感性と表現に関する領域……「表現」

この五領域の指導内容を基本に、松本短大幼稚園で特に力を入れて指導する内容として、下記の4つの柱をあげている。

#### ア. 気づいて、試して学ぶ力

学びのある遊びや、さまざまなことに気づき、試しながら活動をして遊ぶ楽しさを経験、体験したり、また、外国人の先生による英語に触れ 異分化に関わる体験をする。

#### イ. できた、できたが増える力

運動プログラムや、山雅スポーツ指導を通して、体や心の健全な成長を願い、運動遊びを通して、できた!できた!が増え、自信と意欲を育てる。

#### ウ. 気持ちがつながる力

異年齢の関わりをもったり、集団で関わることにより、思いやりや 気持ちがつながる力を身に着ける。

#### エ. 見て触れて、感じる力

信州型自然保育の取り組みにより、自然の中でのびのび遊んだり、自己充実の活動をおこなう。

この4つの柱の指導内容のもと、幼稚園の生活や体験、遊びを通しての 総合的な学びを日々大切にしながら保育を行い、短大幼稚園の特徴ある指導の取り組みとして、毎月の運動プログラムの 取り組み、また英語教育では、外国人講師の先生においで頂き 英語や異文化に触れる体験もおこなっている。そして長野県ならではの、信州型自然保育に 取り組み、昆虫飼育や野菜づくり、園外保育で自然に触れる活動を行ない、自己充実のための保育や 活動を大切にしている。

このような4つの柱の設定により、指導内容をより明確に、具体的にすることがにできた。そして、日々の生活のなかで、一人ひとりの子ども理解を深め、子どもに寄り添い、一人ひとりの指導のねらいをもち、保育を行うことを心がけ、日々の遊び、活動、体験の様子を記録して 保育を省みて、明日の保育へとつなげていくことにしている。

#### (2) 2年度の幼稚園教育内容

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、4月5月中を自主登園の時期として、感染予防の対策をとり、6月より全員そろっての保育が始まり、その後もコロナ感染予防に努めながら保育を行った。特に「保育の見える化」に力を入れ、運動会、クリスマス会、ひな祭り会などの活動を通して、クラス全体の子どもの、活動における取り組みの様子を写真に撮り、

活動に取り組む様子、その時の保育者の思いを重ねて子どもの育ちを分析していく、ドキュメントシートを作成してみた。活動中の子ども達の写真を撮り、その様子を観ることにより、より細かく子ども達の表情、様子を知ったり、子ども達の育ちを理解することができ、クラス運営や指導のため役立った。同時に一人一人の子ども達の ハツとする場面、頑張っている姿、友達とのかかわり、異年齢の子どもとの様子、熱中している姿などを写真に撮り、その写真説明と、保育者の想いや、願いと一緒に記入した、ポートフォリオを作成した。この取り組みにより、写真を通して、子ども達のいろいろな表情を読み取ることができ、子ども理解を深めることができた。

幼稚園の特色ある指導においては、

ア. 気づいて、試して学ぶ力では

日々の生活や、学びのある遊びの環境設定、遊びからの学びを大切にしながら、毎月、2回～4回の外国人の先生による、英語に触れる体験や活動を行い、生活のなかにも英語を取り入れる機会を作ってきた。

イ. できた できたが増える力では

運動プログラムを通して、体や心の健全な成長を願い、運動遊びを通して、できた、できたが増え、自信が付き意欲的に行動できるようになり、運動会には保護者の皆さんに、年少組、年中組、年長組のそれぞれの運動遊びの取り組みを発表し見ていただいた。

ウ. 気持ちがつながる力では

異年齢で園外保育に出かけ、お兄さん、お姉さんにあこがれの気持ちをもったり、小さい子ども達を思いやる気持ちももてた。また、松本短大の学生さんが幼稚園に交流で来てくれたり、短大の授業に園児も参加させていただき、学生さんとの楽しい交流活動をすることができた。

エ. 見て触れて、感じる力では

信州型自然保育の取り組みにより、昆虫を育てたり、野菜を育て収穫したり、園外保育に出て自然に触れたり、年長組は弘法山での遊び、林業センターでの山遊びに取り組んだ。

2. 園児数の概要

①2年度園児数

入園児	年少42名	年中	3名	年長	0名
在園児	6名		27名		21名
計	48名		30名		21名
					99名
・1号認定	38名		21名		18名
・2号認定	10名		9名		3名

②満3歳児入園 13名

③年間転入児（転園・転勤） 7名

④年間転出児（転勤・転居・転園等） 4名

3. 保護者とのかかわり

①幼稚園行事への参加 ・なし

②保育参観、年間2回 ・玄関訪問 ・個別懇談会 ・学級懇談会2回

4. 園内研究保育や、園外の研修会参加

- ①園内研修会 1/14・3/3 … ドキュメントシートづくり
- ②新任者研修 1/25 … オンライン研修

5. 教育実習受け入れ・短大授業参加等

- ①松本短期大学2年生 実習 6名・6/1～6/12 (見学観察実習・部分実習・半日実習・一日実習・研究保育)
- ②松本短期大学2年生 実習 7名・6/15～6/26 (見学観察実習・部分実習・半日実習・一日実習・研究保育)
- ③松本短期大学1年生 実習 6名・11/18～12/2 (見学観察実習・子どもたちとのかかわり・部分実習)
- ④松本短期大学2年生の教育実践演習における実習参加 年中、年長組53名・10/22

6. 預かり保育, 未就園児親子教室, 体験保育

- ①年間 1号認定預かり人数 ・3,100名
  - ・夏休み預かり保育 11日間 99名
  - ・冬休み預かり保育 4日間 22名
  - ・春休み預かり保育 11日間 156名

- ②年間 2号認定特別保育
  - ・土曜日希望保育 50日 169名
  - ・お盆特別保育 2日 0名
  - ・年始特別保育 1日 4名

③未就園児親子教室 毎月平均 親子 20組程参加

未就園児親子教室の活動内容

- ・ 6月、3回 ・製作遊び、幼稚園での遊び、砂遊び
  - ・ 7月、1回 ・七夕飾り製作
  - ・ 8月、1回 ・入園説明会
  - ・ 9月、1回 ・運動遊び
  - ・ 10月、2回 ・ハロウィンごっこ、歯科医さんの話
  - ・ 11月、2回 ・お話の会、七五三製作
  - ・ 12月、1回 ・クリスマス会
  - ・ 1月、1回 ・お正月の遊び
- 年間 12回を行う

④体験保育

- ・ 7月 8日 ・年長組とお店屋さんごっこ
- ・ 9月 30日 ・年中組と運動会ごっこ

7. 園外保育

- ①今井プール ・ 6/24、25、29、7/2、16
- ②松本見学 ・ 10/30
- ③消防署見学 ・ 11/16



## 8. 特別保育活動

- ①運動保育士の先生による、課外運動遊びの指導を、毎月1～2回、運動遊び指導希望者が、保育終了後 指導を受ける。
- ②山雅サッカースポーツクラブの運動指導を6月から2月まで、毎月1回の指導を受ける。
  - ・年間、年少組 2回、年中組 8回、年長組 10回の指導を受ける。
- ③外国の先生による、英語教室の指導を学年ごとに、6月より受ける。 月1回～3回

## 9. 今後の課題

### 〈教育内容のさらなる充実〉

- ①遊びを通しての学び、遊びから学ぶを大切にして、学びのある遊びを環境設定して子ども達に提供する。
- ②ポートフォリオで、子ども達の育ちの様子を知らせていく。

子ども達の育ちの瞬間、子ども達が頑張っている瞬間、夢中になり取り組む、困っている時、友達との関わり等、その写真に対する保育者の思いも書きながら、子ども達の育ちの瞬間を写真にとり、成長の様子を保護者に知らせていく。

### 〈未就園児教室の充実〉

- ①保育補助の先生に入っていただき手厚い保育を行う。
- ②未就園児教室のほかに、幼稚園開放日を毎月1回行い、ひよこ組以外の皆さんにも気軽に幼稚園においていただき、幼稚園を知っていただくようにする。
- ③多くの入園児を確保していく。

## 保育園部

幼稚園型認定こども園として、令和2年4月より保育園部が開園し、保育園を経験された先生方を中心に、年間指導計画、期ごとの指導計画、週案、日案を立て、指導の反省を行い、一人ひとりの様子を記録に残し 子どもの育ちを確認し合った。そして保育園ならではの、チーム保育に取り組み、保育者皆で協力し合い保育をおこない、2年度は、コロナウイルス感染予防対策をとりながら、保育を進めた。

### 1. 保育園部の乳幼児期の指導のねらい

- ①健やかに伸び伸びと育つ
  - ・健康な心と体を育て、安全な生活をつくりだす基礎を培う。
  - ・身体感覚が育ち伸び伸び活動する。
  - ・食事、睡眠、排泄等のセス活リズムの感覚が芽生える。
- ②身近な人と気持ちが通じ合う
  - ・身近な大人との信頼関係を育て人とかかわる力の基礎を培う。
  - ・身近な人と親しみ、かかわりを深め、信頼感が芽生える。
- ③身近なものとかかわり 感情が育つ
  - ・身近なものに、親しみや興味好奇心を持つ。
  - ・身近な環境に、見る、触れる、探求する等自分から関わろうとする。

### 2. 保育園部での指導、活動の取り組み

- (1) 保育者と一緒に生活をしながら、生活習慣を学んだり、保育者と一緒に遊んだり、様々な活動をしたり、好きな遊びをおこない、遊びを通しての学びを大切にする

- ①子どもの発達状態、興味等を考慮して「遊びの環境設定」を行い、保育者と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びに取り組む。
- ②保育者と一緒に、遊ぶ、食べる、睡眠をとる、おむつ交換や排泄を行い、生活習慣を身に付ける。
- ③四季折々の季節に応じた遊びを大切にする
- ・ 4月、5月 …園庭での遊び、砂遊び、散歩で体力づくりや自然と関わる。
  - ・ 6月、7月、8月…水遊び、プール遊び。
  - ・ 9月、10月、11月…園庭での遊び、散歩で体力づくりや自然と関わる。
  - ・ 12月、1月、2月…室内遊び、雪遊び。
  - ・ 3月…園庭での遊び、砂遊び、散歩で体力づくりや自然と関わる。
- ④四季の行事を知ったり、体験する
- ・ 5月…端午の節句、鯉のぼり
  - ・ 7月…七夕
  - ・ 11月…やきいも会
  - ・ 12月…クリスマス会、餅つきごっこ
  - ・ 1月…お正月、獅子舞
  - ・ 2月…節分
  - ・ 3月…ひな祭り
- ⑤四季折々の散歩
- |           |            |            |
|-----------|------------|------------|
| ・ 4月 … 4回 | ・ 10月 … 8回 | ・ 3月 … 12回 |
| ・ 5月 … 2回 | ・ 11月 … 9回 |            |
| ・ 6月 … 9回 | ・ 12月 … 9回 |            |
| ・ 7月 … 3回 | ・ 1月 … 6回  |            |
| ・ 9月 … 1回 | ・ 2月 … 3回  |            |
- ⑥散歩の場所
- ・ 幼稚園の裏の公園、9丁目公園、6丁目の公園、5丁目の公園、3丁目の公園、松原中央公園、梨の木公園、松原南部公園、馬場家住宅
- ⑦毎月の製作活動
- ・ 毎月、保育者と一緒に製作活動を行う。
- (2) 健康及び環境衛生
- ①登園時の体温測定、健康観察、保育中の体調変化に応じての保護者連絡等を行い体調管理を行う。
- ②保育室内外に危険な場所がないか、点検対応を行い怪我の防止に努める。
- (3) 食育の推進
- ①自園給食にともない 給食を自分で食べようとする意欲を育て、手を使い、スプーンフォークを使用して食べるようにする。
- ②好き嫌いなく、なんでも食べようとする。
- (4) 防災、避難訓練
- ①毎月1回の避難訓練を行う
- ・ 火災想定避難訓練  
5月、7月、10月、11月、3月
  - ・ 地震想定避難訓練  
6月、8月、9月、12月、1月、2月

(5) 職員、保護者行事の参加

- ①職員玄関訪問 … 5/14、19、20、22、25…玄関訪問にて子どもさんの様子をお話する。
- ②保護者 一日保育士体験参加 … 7月から11月まで保護者が、一日保育士として保育に参加。
- ③保護者引き渡し訓練 … 9/1 地震発生の保護者引き渡し訓練。
- ④運動会 … 10/5 年少組と一緒に運動会。
- ⑤「おおきくなったね会」…2/19 進級前の子ども達の活動発表の様子を見て頂き園児の成長の様子を知っていただく。

3. 2年度保育園部の状況

①2年度園児数

- ・0歳児 … 3名
- ・1歳児 … 13名
- ・2歳児 … 6名
- 計 22名

②年間途中入園

- ・0歳児 … 3名
- ・2歳児 … 2名

③年度末退園者

- ・0歳児 … 1名
- ・1歳児 … 1名
- ・2歳児 … 3名

④年間保育日数 … 291日

4. 子育て支援の取り組み

- ①土曜日希望保育日 年間50日開園 土曜保育参加者 133名
- ②お盆特別希望保育 2日開園 参加者 3名
- ③年始特別希望保育 1日開園 参加者 5名

5. その他の取り組み

- ①園児の様子を写真を通して、保護者の方に知っていただくために、月2回の「あゆみ」のおたよりに写真を掲載してお知らせをした。
- ②園児の昼寝をしている時間を利用して、職員の打ち合わせ、保育について話し合い、保育者同士の関わり合い、協力体制を深めてきた。

6. 今後の課題

- ・「保育環境の中で一番大切なのは、保育者である」ということを心して、保育者皆で協力し合い、保育を進めていく。

補助金を活用した施設・設備の整備状況

1 長野県補助金 教育支援体制整備事業（幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業）

事業内容 幼稚園棟の7教室へのエアコン設置

施工業者 株式会社 サンリン

総事業費 3,622,300 円

補助金額 1,000,000 円

2 長野県補助金 教育支援体制整備事業（認定こども園設置促進事業）「新型コロナウイルス対策分」

事業内容 新型コロナウイルス対策として、空気清浄機などの機器類や、感染対策のアルコール・マスクなど消耗品の購入

納入業者 株式会社 上條機械店ほか

総事業費 1,453,476 円

補助金額 1,426,000 円

3 長野県補助金 教育支援体制整備事業（園務改善のための ICT 化支援事業）

事業内容 新型コロナウイルス対策の一環として、園の活動を動画で配信するためのシステムの整備

納入業者 株式会社 リコージャパンほか

総事業費 408,716 円

補助金額 281,000 円

4 松本市補助金 初度調弁費

事業内容 老朽化したプールを廃棄し、組み立て式プールを新規購入

納入業者 株式会社 ジャクエツ

総事業費 2,653,200 円

補助金額 1,768,800 円

### 3. 財務の概要

#### (1) 収支の状況

令和2年度から松本短大幼稚園を認定こども園化する計画をたて、平成30年度から準備に取り掛かり、既存の管理棟199.43㎡を取り壊し、新たに、432.43㎡の保育園棟を建てた。また、既存の幼稚園棟の耐震化工事及び小児用のトイレの改修工事を行った。また、令和2年度から、未満児の受け入れが始まったので、保育士の採用を行った。

また、令和3年度から短期大学看護学科を4年制大学化し、松本看護大学を設立する計画をたて、同じく平成30年度から準備に取り掛かり、新たに、1,140.43㎡の看護学部棟を建設した。建設費は、約511,736千円であった。また、既存の実習室の改築工事を行った。教育研究用機器備品として、135,000千円を、図書として、29,230千円を購入した。また、長年の懸案であった音楽棟の建て替え及び音楽レッスン棟の耐震化工事を令和2年度に計画した。しかし、音楽レッスン棟を耐震化すると却って費用が掛かってしまい、工事中はレッスン室が使えないため、新しい音楽棟にレッスン室を4室作ることで対応した。音楽棟の建設工事は、約70,093千円であった。

また、看護大学設立のための教員の確保のため、令和2年度から教員の採用を一部開始した。これは、文部科学省の教員審査に合格する教員の確保が難しいため、前もって採用したものである。

以上の計画履行のため、施設・設備支出、教育研究経費支出、管理経費支出、人件費支出が例年以上に増額となってしまったため、収支の状況及び主要な財務比率について悪化が見られるが、計画履行に伴うものであり、現に幼稚園は収支の差額が令和元年度以前には、マイナスであったものが、令和2年度は、金額は少ないがプラスに転じている。看護大学でも、初めて卒業生を送り出す完成年度には、収支の差額はプラスに転じるものと予想している。

過去5年間の収支の推移は、[別紙9]のとおりである。事業活動収入が、令和2年度においては前年度より約325,675千円増の約1,107,437千円、事業活動支出は前年度より約236,448千円増の877,335千円、基本金組入前収支差額は、前年度が約140,875千円であったのに対し、令和2年度は約230,102千円となっており、前年度と比べて、改善されてはいるが、これは、長野県及び松本市からの施設設備補助金収入3億円のためであり、教育活動収入から教育活動支出を引いた教育活動収支差額は、約69,915千円の大幅なマイナスである。大学設置のために人件費及びその他の経費が大幅に増えたため、また、幼稚園の保育園棟の減価償却額が増えたこと等が考えられるが、令和3年度は、松本看護大学の施設設備の減価償却額が増えるため、益々経営的には厳しさが増していくのではないかと。また、基本金組入後の当年度収支差額は、マイナスの約512,856千円となっており、翌年度繰越収支差額は、マイナスの約666,054千円となっている。

また、現金・預金は令和元年度に比べ、約332,517千円減の約880,019千円となっており、この内の、226,279千円は借入金によるものであり、実質は、約653,740千円である。大学設置のため、施設設備関係支出他が増えたためではあるが、県内の他の私立短大の流動資産保有額に比べ、少なく、安定的な経営を進める上からも、今後とも増加を図っていかなければならない。

令和2年度は、松本看護大学設立というとても大きな事業が有り、また、音楽棟の改築も有り、現金預金は大幅に減少してしましたが、令和3年度以降は増加に転じるものと予想している。そのためには、介護福祉学科の学生確保と幼児保育学科及び松本看護大学の定員充足が是非必要である。

#### (2) 主要な財務比率について

本学の令和元年度、令和2年度の財務比率及び令和元年度の全国短大法人平均財務比率は、[別紙10]の通りである。経営状況を示す事業活動収支差額比率（基本金組入前収支差額を事業活動収入で除したもの）においては、全国平均がマイナス3.2%（令和元年度）であるのに対し、本学は平成元年度がプラス18.0%、令和2年度はプラス20.8%となっている。全国短大法人では、マイナスとなっており、経営状況が悪化していることが伺われる。本学はプラスであるが、これは施設設備補助金が約3億円と多かったためであり、これを引くと、令和2年度の業活動収支差額比率はマイナス6.6%

で、令和元年度の全国短大法人平均より、悪い。また、人件費比率は、令和元年度は66.8%、令和2年年度は71.2%で全国平均を大幅に上回っている。これは前述したとおり、看護大学教員を前もって採用したためであるが、令和元年度においても、全国平均を上回っている。経営的には50%以下が望ましいと言われており、今後とも人件費の削減に取り組んでいく必要がある。

### (3) 主な施設・設備の整備状況

令和2年度には、松本看護大学開設のため、看護学部棟の建設及び既存実習室の改築工事を行った。建設改築費用は、約512,796千円であった。また、音楽棟の建て替えと音楽レッスン棟の耐震化工事を予定していたが、音楽レッスン棟の耐震化ではかえって、費用が掛かってしまうために、新しい音楽棟にレッスン室を設けることにより、建て替えで対応した。費用は、約70,093千円であった。また、松本看護大学開設のために、機器備品を購入し、図書を整備を行った。機器備品は、135,000千円で、図書は、29,230千円であった。

## 学校法人松本学園 役員・評議員名簿

令和3年3月31日現在

職 名	氏 名	選任条項		備 考
理事長・評議員	銭 坂 久 紀	5-2 / 6-1-1	21-1	
理事・評議員	木 内 義 勝	6-1-1	21-1	
理事・評議員	赤 羽 郁 夫	6-1-2	21-3	
理事・評議員	三 井 経 光	6-1-2	21-3	
理事・評議員	百 瀬 常 雄	6-1-2	21-3	
理事・評議員	上 條 節 子	6-1-3	21-3	
理事・評議員	上 條 温	6-1-3	21-3	
理事・評議員	坪 田 明 男	6-1-3	21-3	
監 事	伊 藤 隆	7-1	—	
監 事	松 川 幸 寛	7-1	—	
評 議 員	高 山 知 佳	—	21-1	
評 議 員	玉 井 和 宏	—	21-1	
評 議 員	渡 邊 涉	—	21-1	
評 議 員	手 塚 富 喜 子	—	21-2	
評 議 員	鳥 羽 寿 々 子	—	21-2	
評 議 員	林 慎 也	—	21-2	
評 議 員	柳 沢 佳 澄	—	21-2	
評 議 員	窪 田 高 明	—	21-3	
評 議 員	三 村 幸 人	—	21-3	



## 令和2年度 松本短期大学 専任職員名簿

別紙2

令和2年4月1日現在

No.	職名	氏名	〒	住 所	TEL	携帯電話
1	理事 長	錢 坂 久 紀				
2	学 長 ・ 教 授	木 内 義 勝				
【 大 学 設 置 室 】						
3	室 長 ・ 教 授	小 林 たつ子				
4	副 室 長 ・ 教 授	小 林 由 美				
【 幼 児 保 育 学 科 】						
5	学 科 長 ・ 教 授	内 藤 美 智 子				
6	教 授	生 田 恵 津 子				
7	教 授	山 田 真 治				
8	准 教 授	保 高 (石 毛) 久 美 子				
9	准 教 授	白 金 俊 二				
10	准 教 授	山 藤 宏 子				
11	講 師	高 下 梓				
12	講 師	松 澤 高 志				
13	講 師	米 窪 洋 介				
【 介 護 福 祉 学 科 ・ 専 攻 科 】						
14	学 科 長 ・ 教 授	丸 山 順 子				
15	教 授	合 津 千 香				
16	教 授	矢 羽 田 明 美				
17	准 教 授	福 田 明				
18	講 師	齋 藤 真 木				
19	講 師	吉 藤 郁				
20	講 師	花 野 希 久 美				
【 看 護 学 科 】						
21	学 科 長 ・ 教 授	宮 坂 光 長				
22	教 授	倉 科 恵 里				
23	教 授	西 沢 三 代 子				
24	教 授	今 井 栄 子				
25	准 教 授	山 田 恵 子				
26	講 師	垣 内 いづみ				
27	講 師	清 沢 京 子				
28	講 師	奥 原 香 織				
29	講 師	武 井 浩 子				
30	講 師	五 十 嵐 佳 寿 美				
31	講 師	等 々 力 菜 美				
32	講 師	塩 澤 綾 乃				
33	助 教	畔 上 一 代				
34	助 教	山 下 照 美				
35	助 教	大 谷 健 史				
36	助 教	牛 山 陽 介				
37	助 教	黒 澤 多 美 子				
38	助 手	笠 原 潮 美				
39	助 手	佐 藤 圭 子				
【 事 務 局 】						
40	法 人 事 務 局 長	玉 井 和 宏				
41	短 大 事 務 長	渡 辺 涉				
42	学 生 部 長	渡 邊 正 範				
43	総 務 係 長	竹 岡 雄 一 郎				
44	主 任	荒 井 京 子				
45	主 任	小 松 昭 和				
46	主 事	大 和 由 美 子				
47	主 事	藤 森 永 理 子				
48	図 書 館 司 書	下 澤 純 奈				
49	主 事	丸 山 香 織				
50	主 事	花 村 仁 美				
51	主 事	坂 井 祐 二				
52	主 事	西 田 礼 子				
53	主 事	山 本 勇				
54	主 事	上 條 美 穂 子				
55	主 事	澤 田 麻 貴				



令和2年度 松本短期大学 非常勤講師名簿

別紙3

令和2年4月1日現在

No.	職名	氏名	郵便番号	住所	電話番号	携帯電話
1	非常勤講師	青木孝子				
2	非常勤講師	阿部奈奈				
3	非常勤講師	荒敏昭				
4	非常勤講師	飯島恵道				
5	非常勤講師	飯田しのぶ				
6	非常勤講師	市川元基				
7	非常勤講師	伊東和広				
8	非常勤講師	今井寿生				
9	非常勤講師	岩垂(高倉)美和				
10	非常勤講師	漆戸敏夫				
11	非常勤講師	太田節子				
12	非常勤講師	岡本恵子				
13	非常勤講師	岳鳳鳴				
14	非常勤講師	鎌倉哲子				
15	非常勤講師	亀井智泉				
16	非常勤講師	川上由行				
17	非常勤講師	行田輝廣				
18	非常勤講師	黒澤優子				
19	非常勤講師	小林辰也				
20	非常勤講師	小山淳一				
21	非常勤講師	齊藤俊子				
22	非常勤講師	澤柿教淳				
23	非常勤講師	澤野紳二				
24	非常勤講師	嶋崎昌子				
25	非常勤講師	高本雅也				
26	非常勤講師	武居みさ				
27	非常勤講師	武井陽子				
28	非常勤講師	竹前健治				
29	非常勤講師	田所治				
30	非常勤講師	豊嶋さおり				
31	非常勤講師	中倉典子				
32	非常勤講師	中島嘉尚				
33	非常勤講師	杉山(中山)佳子				
34	非常勤講師	西澤弘行				
35	非常勤講師	野田あゆ子				
36	非常勤講師	原洋祐				
37	非常勤講師	原田春海				
38	非常勤講師	藤田直樹				
39	非常勤講師	古屋顯一				
40	非常勤講師	MARTIN GILLIS				
41	非常勤講師	水野尚子				
42	非常勤講師	宮脇千史				
43	非常勤講師	村田(中井)紀代子				
44	非常勤講師	山口真理				
45	非常勤講師	横山芳子				
46	非常勤講師	輪湖直子				

松本短期大学 令和2年度 進路状況

別紙4

令和3年3月現在

学科等	卒業生数(名)	就 職			進 学	就職希望なし
		希望者数(名)	内定者数(名)	内定率	決定者数(名)	家居(名)
幼児保育	99	95	95	100%	2	2
介護福祉	29	27	27	100%	1	1
看 護	69	68	68	100%	1	0
専攻科	4	4	4	100%	0	0
計	201	194	194	—	4	3

<幼児保育学科>

県内就職者90名、県外就職者5名、進学者2名

	合計(名)	就職者に占める割合	備考
公務員	41	43.2%	正規16名、非正規25名、保育士40名、行政職1名
私立保育園	15	15.8%	
私立幼稚園	6	6.3%	
私立認定こども園	8	8.4%	
乳児院・児童養護施設等	8	8.4%	乳児院1名、児童養護施設7名
その他の社会福祉施設	12	12.6%	
一般企業	5	5.3%	
進学	2	—	長野大学社会福祉学部2名
家居	2	—	
合計(名)	99	100.0%	

<介護福祉学科>

県内就職者27名、県外就職者0名、進学者1名

	合計(名)	就職者に占める割合	備考
特別養護老人ホーム	14	51.9%	
介護老人保健施設	8	29.6%	
訪問介護	1	3.7%	
デイサービス	1	3.7%	
地域密着型老人福祉施設	1	3.7%	
一般企業等	2	7.4%	
進学	1	—	長野大学社会福祉学部1名
家居	1	—	
合計(名)	29	100.0%	

<専攻科福祉専攻>

県内就職者4名、県外就職者0名、進学者0名

	合計(名)	就職者に占める割合	備考
特別養護老人ホーム	1	25.0%	
児童養護施設	2	50.0%	
認定こども園	1	25.0%	
合計(名)	4	100.0%	

<看護学科>

県内就職者62名、県外就職者6名、進学者1名

	合計(名)	就職者に占める割合	備考
県内病院	61	89.7%	
県内グループホーム	1	1.5%	看護師として就職
県外病院	6	8.8%	名古屋大学医学部附属病院、名古屋医療センター、
進学	1	—	穂の香看護専門学校助産学科1名
合計(名)	69	100.0%	

## 松本看護大学 令和3年度入学試験 入試状況一覧表

令和3年4月5日現在

学部学科	試験区分	志願者数	合格者数	入学者数	備考
看護学部 看護学科 募集定員70名	総合型選抜	3名	3名	3名	
	指定校推薦選抜	33名	33名	33名	
	公募推薦選抜	18名	15名	15名	
	社会人選抜	1名	1名	1名	
	第一期一般選抜	59名	51名	18名	
	第二期一般選抜	17名	15名	9名	
	計	131名	118名	79名	112.9%

## 松本短期大学 令和3年度入学試験 入試状況一覧表

令和3年4月5日現在

学科	試験区分	志願者数	合格者数	入学者数	備考
幼児保育学科 募集定員100名	総合型選抜	26名	25名	25名	
	指定校推薦選抜	59名	59名	59名	
	公募推薦選抜	8名	8名	8名	
	社会人選抜	1名	1名	1名	
	第一期一般選抜	5名	5名	3名	
	第二期一般選抜	3名	3名	3名	
	転科	0名	0名	0名	
	二次募集	0名	0名	0名	
	計	102名	101名	99名	99.0%
介護福祉学科 募集定員40名	総合型選抜Ⅰ期	0名	0名	0名	
	総合型選抜Ⅱ期	2名	2名	2名	
	指定校推薦選抜	25名	25名	25名	
	公募推薦選抜	1名	1名	1名	
	社会人選抜	0名	0名	0名	
	第一期一般選抜	1名	1名	1名	
	第二期一般選抜	0名	0名	0名	
	転科	2名	2名	2名	
	技専	4名	3名	3名	
二次募集	0名	0名	0名		
	計	35名	34名	34名	85.0%
看護学科	学生募集 停止	-	-	-	
		-	-	-	
		-	-	-	
		-	-	-	
		-	-	-	
		-	-	-	
専攻科 福祉専攻	学生募集 停止	-	-	-	
		-	-	-	
		-	-	-	



No.	職名	氏名	〒	住所	電話番号	担当
1	園長	銭坂久紀				理事長・園長
2	園長代行	高山知佳				園長代行・教育補助
3	副園長 兼保育教諭	鳥羽壽々子				0~2保育統括
4	主任保育教諭 (幼稚園)	米窪あや子				満3歳児 未就園児ほか
5	主任保育教諭 (保育園)	安坂美代子				満3歳児 未就園児ほか
6	副主任保育教諭 (幼稚園)	児玉麻美				年中:ゆり
7	副主任保育教諭 (保育園)	森下恵美				0・1歳児
8	保育教諭 職務分野別リ-ター	上條由香子				年長:さくら
9	保育教諭 職務分野別リ-ター	平林愛夏				年少:ばら
10	保育教諭 職務分野別リ-ター	古畑菜穂				2歳児
11	保育教諭 職務分野別リ-ター	渡邊千裕				0・1歳児
12	保育教諭	高橋美涼				年中:すずらん
13	保育教諭	竹原聖奈				0・1歳児
14	保育教諭	古本まみ				年少:ひまわり
15	保育教諭	堀内樹里				0・1歳児
16	保育教諭	宮坂桃夏				年少:すみれ
17	嘱託職員 保育士 職務分野別リ-ター	高山小百合				0・1歳児
18	嘱託職員 保育教諭 職務分野別リ-ター	南澤みゆき				0・1歳児
19	非常勤講師 (幼稚園教諭)	斉藤裕見子				以上児フリー
20	非常勤講師 (保育教諭)	樋口由佳代				フリー
21	非常勤講師 (保育士)	矢花康子				フリー・(2歳児)
22	事務長	玉井和宏				幼稚園事務全般 法人事務局長 兼務
23	嘱託職員 事務兼バス運転手	高橋富二				スクールバス運転ほか
24	嘱託職員 事務兼バス運転手	太谷桂				スクールバス運転ほか

〒 399-0025 松本市寿台7-4-1  
 TEL 0263-58-6563  
 FAX 0263-58-6593  
 mobile 080-2263-5356  
 E-mail matsutanyo@matsutanyo.jp

松本短大幼稚園





## 過去5年間の収支の推移 (案)

(単位：千円)

資金収支計算書	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R01, R02差異
学生生徒納付金収入	528,112	498,742	489,083	490,777	496,462	5,685
手数料収入	9,409	9,700	9,350	8,513	9,068	555
寄付金収入	0	0	5,400	1,500	809	△ 691
補助金収入	111,981	100,938	101,572	267,326	522,621	255,295
付随事業収入	17,936	16,246	13,035	8,837	23,285	14,448
受取利息・配当金収入	1,662	898	1,587	878	281	△ 597
雑収入	36,586	17,244	12,934	3,637	54,838	51,201
人件費支出	474,474	438,271	428,599	422,289	533,826	111,537
教育研究経費支出	79,142	77,703	78,471	75,618	110,135	34,517
管理経費支出	43,004	49,888	47,971	57,207	93,718	36,511
施設関係支出	185,028	1,110	3,332	308,597	587,014	278,417
設備関係支出	16,283	7,882	5,651	18,718	186,067	167,349
現金預金(含む特定資産)	1,036,273	1,118,105	1,176,909	1,212,536	880,019	△ 332,517
事業活動収支計算書	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R01, R02差異
事業活動収入計	705,874	643,789	633,037	781,762	1,107,437	325,675
事業活動支出計	671,921	653,182	637,885	640,887	877,335	236,448
人件費	477,884	441,113	428,499	425,443	572,839	147,396
教育研究経費	141,592	149,061	148,133	144,829	194,000	49,171
管理経費	51,041	62,470	60,895	69,980	107,367	37,387
基本金組入前収支差額	33,953	△ 9,393	△ 4,847	140,875	230,102	89,227
当年度収支差額	△ 176,435	△ 12,543	△ 166,272	△ 6,237	△ 512,856	△ 506,619
翌年度繰越収支差額	△ 131,582	△ 144,572	△ 304,962	△ 153,198	△ 666,054	△ 512,856



## 財務比率比較表(案)

No.	番号	比率名	算式(×100)	令和元年度		令和2年度	
				本法人	全国平均 短大法人	本法人	
貸 借 対 照 表	1	自己資金は充実されているか	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	84.2%	88.6%	83.5%
			繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	-4.9%	-18.1%	-19.5%
			基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	94.6%	96.9%	95.7%
	2	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	69.8%	95.7%	86.4%
			固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	61.6%	89.3%	76.5%
	3	資産構成はどうか	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	58.8%	84.8%	72.1%
			有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	57.3%	59.7%	72.0%
			特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	1.4%	20.0%	0.0%
			流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	41.2%	15.2%	27.9%
			減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	52.7%	53.9%	43.4%
	4	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	23.3%	26.2%	9.3%
			運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	1.5	1.8	0.7
			流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	923.3%	299.8%	487.6%
			前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	907.4%	522.7%	562.2%
			退職給与引当特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	0.0%	59.9%	0.0%
	5	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	11.3%	6.3%	10.8%
			流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	4.5%	5.1%	5.7%
			総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	15.8%	11.4%	16.5%
			負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	18.7%	12.9%	19.8%
6	運用資産の保有状況はどうか	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	81.2%	72.5%	54.9%	

	No.	番号	比 率 名	算式 (×100)	令和元年度		令和2年度	
					本法人	全国平均 短大法人	本法人	
事業 活 動 収 支 計 算 書	1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	18.0%	-3.2%	20.8%	
	2	収入構成はどうか	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	77.1%	59.3%	61.7%	
			寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	18.7%	1.7%	27.4%	
			経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.2%	1.2%	0.1%	
			補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	34.2%	29.7%	47.2%	
			経常補助金比率	$\frac{\text{経常費等補助金}}{\text{経常収入}}$	19.3%	29.0%	27.3%	
	3	支出構成は適切であるか	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	66.8%	63.3%	71.2%	
			教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	22.7%	29.4%	24.1%	
			管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	11.0%	11.4%	13.3%	
			借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0%	0.2%	0.2%	
			基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	18.8%	7.4%	67.1%	
			減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	12.8%	11.0%	11.1%	
	4	収入と支出のバランスはとれているか	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	86.7%	106.8%	115.4%	
			基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	101.0%	111.4%	240.7%	
			経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-0.6%	-4.5%	-8.9%	
			教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-0.7%	-6.3%	-8.7%	
	※	1	教育活動でキャッシュフローが生み出せているか	教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	13.8%	5.2%	5.2%

※ 活動区分資金収支計算書

